



雲南出雲神楽

古代鉄歌謡館

の夕べ

公演演目／「簸の川大蛇退治」等 一公演、二演目上演

●定期公演

4月～12月 (6月は休演)

3月 19:00～20:30

主催：株式会社キラキラ雲南

後援：雲南市、(一社)雲南市観光協会

入場料 中学生以下無料
高校生以上1,000円(税込)

雲南市古代鉄歌謡館

雲南市大東町中湯石84 TEL0854-43-6568

※公演スケジュール変更の場合あり。HPをご覧ください。

雲南市 古代鉄歌謡館 HP
www.kodaitetsu.com



雲南市の出雲神楽HP
www.unnan-izumokagura.com





出雲神楽

出雲神楽とは、岩屋にお隠れになった天照大神のお出ましを願う「アメノウズメノミコト」の舞が神楽の起源とされています。古事記、日本書紀の「神代」には、出雲神楽の元となっている神話が多数挿入されています。そこに登場するスサノヲ、オロチ、オオクニヌシ、イナタヒメ。その多くは雲南市を流れる斐伊川流域にまつわる神話です。雲南市内には、現在多くの神楽社中があり、地域の郷土芸能として脈々と受け継がれています。

演目紹介: 簸之川大蛇退治

須佐之男命が、斐伊川の川上で、一人の姫を嘆き悲しんでいる老夫婦に出会いました。この川上に住む、頭は八つ、尾は八つの恐ろしい大蛇に七人の姫を取り吞まれ、この稲田姫を取り吞まともうすぐやってくるといいます。須佐之男命は大蛇を退治しようと、強い酒を造り、八つの酒舟に満たして家の周りに置きました。やがてやってきた大蛇は、酒を一滴も残さずに飲み干し、酔っ払って寝てしまいます。須佐之男命は十握の剣を持って大蛇をすたすたに切り裂き、尾より天の叢雲剣(後の草薙の剣)を取り出しました。そして稲田姫を思い、「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに八重垣作る その八重垣を」と和歌を詠み、須賀の地(現在の雲南市大東町須賀)に宮殿を建て、末永くお暮らしになりました。



4/12(土)
19:00~20:30

山王寺和野神楽社中
(大東町)



4/20(日)
13:00~16:00

中野神楽保存会
(三刀屋町)



5/10(土)
19:00~20:30

南加茂貴船神楽社中
(加茂町)



7/12(土)
19:00~20:30

深野神楽保存会
(吉田町)



8/9(土)
19:00~20:30

棚屋神楽保持者会
(木次町)



9/13(土)
19:00~20:30

佐世神楽社中
(大東町)



10/11(土)
19:00~20:30

小河内神楽社中
(大東町)



11/8(土)
19:00~20:30

山王寺本郷神楽社中、
薦沢神楽社中
(大東町)



12/13(土)
19:00~20:30

西日登神楽社中
(木次町)



R.8
3/14(土)
19:00~20:30

須所若獅子会
(三刀屋町)

海潮温泉

「出雲風土記」にその名を残す名湯

「松江の奥座敷」とも呼ばれ、広く親しまれています。
初夏ははたる、秋は紅葉、冬は雪景色を楽しめます。



桂荘「源泉掛け流し大浴場」



海潮荘「天然温泉露天風呂 宝樹の湯」

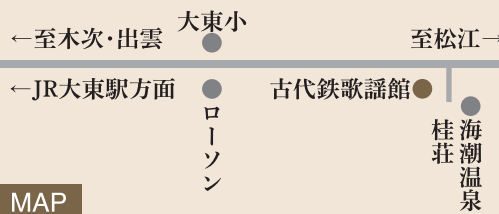
雲南市 古代鉄歌謡館

〈問い合わせ先〉雲南市古代鉄歌謡館 住所／雲南市大東町中湯石48

TEL.0854-43-6568

www.kodaitetsu.com

主催／株式会社キラキラ雲南(雲南市古代鉄歌謡館)



MAP

交通アクセス

バス：一畑路線バス松江駅・メッセ方面行き
大東駅前～ゆけむり大橋前 7分 ゆけむり大橋前下車 徒歩5分

